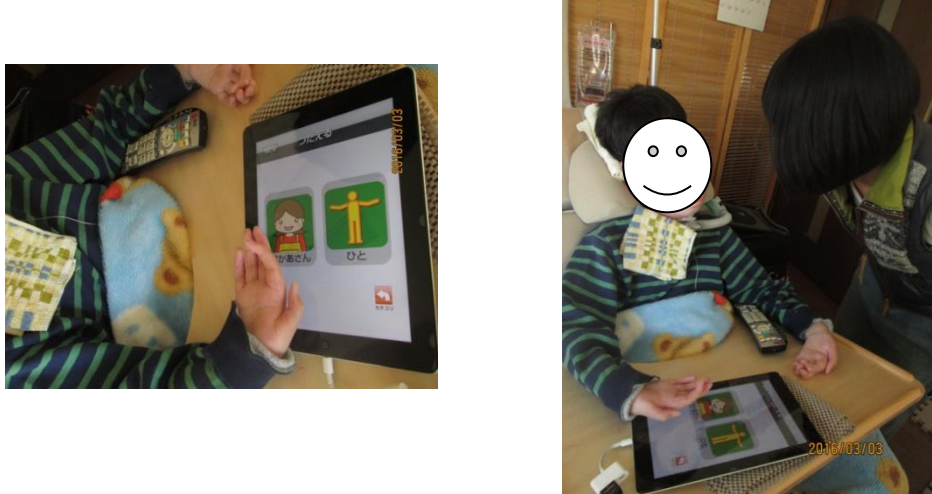


アプリ名	ねえ、きいて ※App Store でダウンロード
教科・領域	自立活動
学習形態	集団（ 人程度） ペア 個別
太田ステージ段階	Ⅲ－１～
	
1 アプリの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことが困難な児童生徒が、誰かを呼びたいとき、自分の意思を伝えたいときなどに項目を選んでタップすると、音声とシンボル（絵）が表示されるというアプリ。 ・選択項目はたくさんあるが、トップ画面には「はい」「いいえ」の2つの箇所があり、言語の選択項目が絞られていて逆に使いやすい面もある。また、個人的に登録しておきたい言葉なども登録できて使いやすい。
2 使い方	<ol style="list-style-type: none"> ① アプリを起動する。 ② 使いたい項目を選んで表示する。（挨拶、動作など） ③ 使いたい言葉を選んでタップする。
3 おすすめポイント ・どんな力がつくか	<ul style="list-style-type: none"> ・「話したくても話せない。」という児童生徒の声になってくれる。自分で言葉を選んで選択できる力があると使いやすいが、選択できる能力がない場合も、画面をタップすれば一定の音声が出て、助けを求められる（たとえば「お母さん」など）といった使い方ができる。